



# 別冊

## 予備項目手順書



## 予備項目カスタマイズ方法

管理者クライアントのインベントリ照会画面、利用者クライアントの固有情報設定画面に表示する予備項目の表示名称を、システム管理者が事前に作成しておくことで、カスタマイズが可能となります。

(システム管理者が設定する予備項目の表示名称データを以降、固有情報設定データと示す)

※ 固有情報設定データは、システム管理者がテキストエディタ（メモ帳など）で編集する。

SpSecEnvironmentCustomize.sam というファイルを用意しているため、拡張子 sam を ini に変更して使用する。

※ 予備項目のカスタマイズは、システムで 1 種類とする（インベントリ照会画面、インベントリデータの一括 CSV 出力ではポリシー毎に予備項目を変えることができないため、システムで 1 種類とする）。

1. 管理サーバの以下のフォルダに用意されているサンプルファイル「SpSecEnvironmentCustomize.sam」を変名し、「SpSecEnvironmentCustomize.ini」とします。
  - ・クライアントからの場合：<共有した DOEXPRESS フォルダ>:\\$Derep¥Client¥Vosecusr¥Policy  
(例) K:\\$Derep¥Client¥Vosecusr¥Policy
  - ・サーバ上の場合：<インストール先ドライブ>:\\$DOEXPRESS¥Derep¥Client¥Vosecusr¥Policy  
(例) D:\\$DOEXPRESS¥Derep¥Client¥Vosecusr¥Policy
2. SpSecEnvironmentCustomize.ini ファイルを修正し、元の場所に保存します。
3. 管理クライアントで、オフライン版を再作成します。
4. 作成されたオフライン版の所定のフォルダに、SpSecEnvironmentCustomize.ini ファイルをコピーしてください。
  - ・コピー先：<オフライン版フォルダ>:\\$Vosecusr  
(例) K:\\$Vosecusr

## 固有情報設定データ

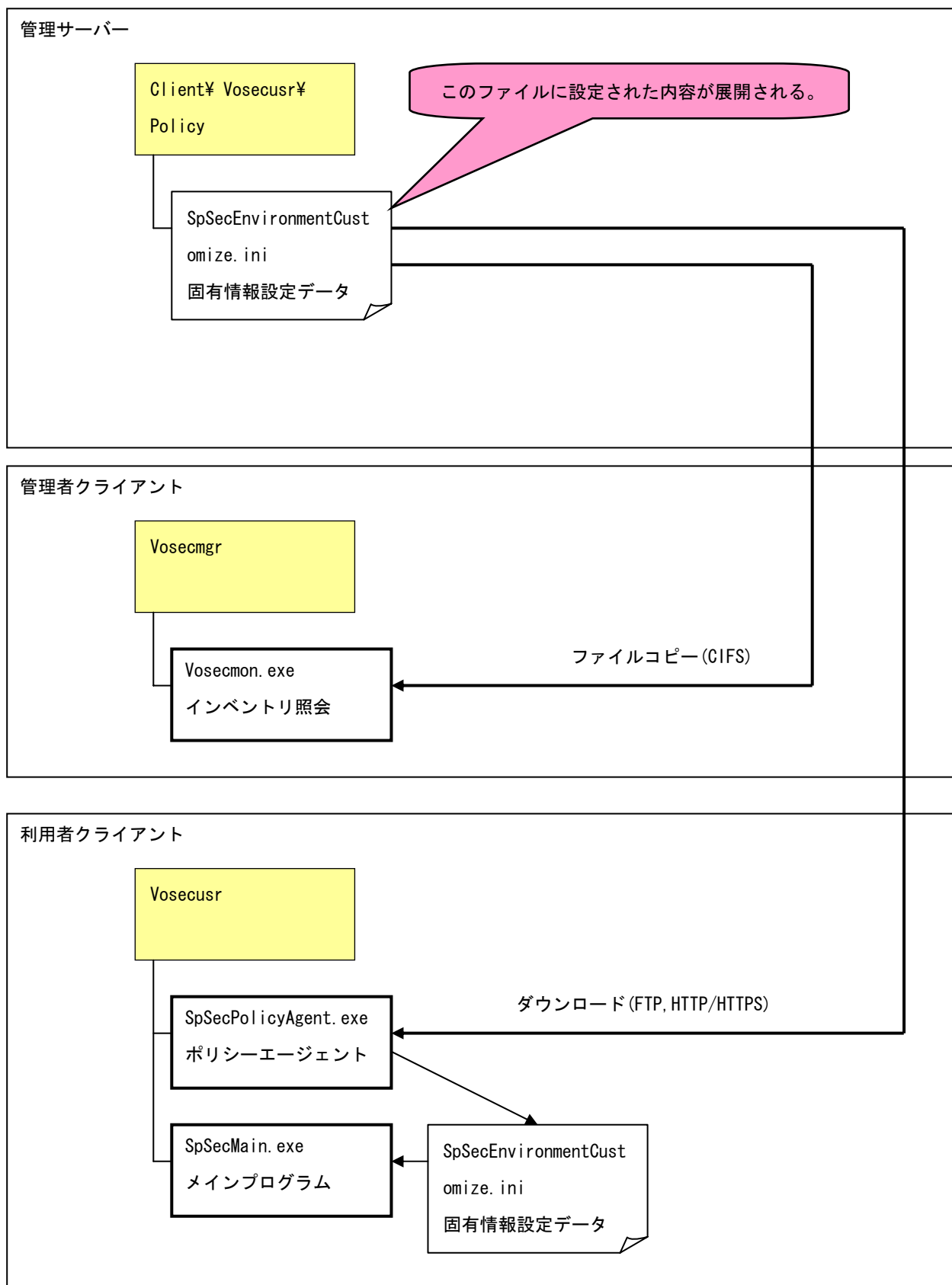
次の設定は、システム管理者が固有情報設定データを設定した例である。

SpSecEnvironmentCustomize.ini

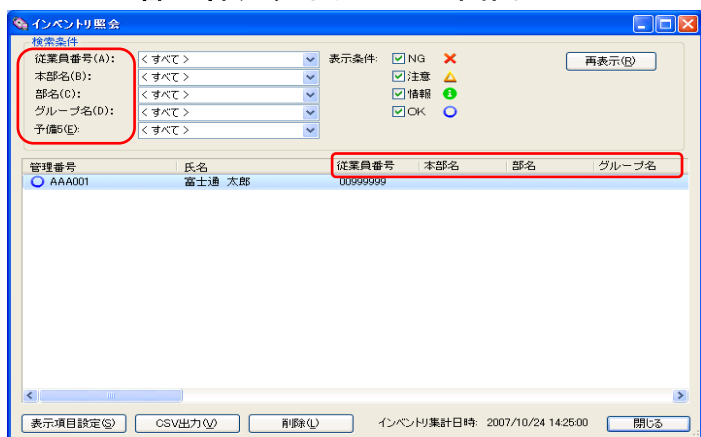
```
[OWNER]
display_name_note_001=従業員番号
display_name_note_002=本部名
display_name_note_003=部名
display_name_note_004=グループ名
display_name_note_005=
```

- ※ 未設定の場合は、予備 n で画面表示される。
- ※ 全角8文字以内で設定すること（半角カナも使用可能）

## <カスタマイズしたデータの展開イメージ>



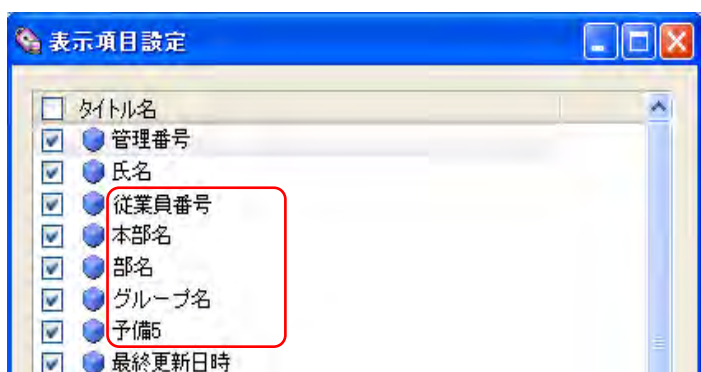
## <管理者クライアントの画面>



### 画面イメージ

画面イメージは、システム管理者が予備項目をカスタイズした例である。

予備 1 ..... 従業員番号  
 予備 2 ..... 本部名  
 予備 3 ..... 部名  
 予備 4 ..... グループ名  
 予備 5 ..... (変更なし)



### 画面イメージ (表示項目設定画面)

画面イメージは、システム管理者が予備項目をカスタイズした例である。



### 画面イメージ (クライアント詳細情報画面)

画面イメージは、システム管理者が予備項目をカスタイズした例である。

## <利用者クライアントの画面>

### 画面イメージ (固有情報設定画面)

次の画面イメージは、システム管理者が固有情報設定画面の予備項目をカスタイズした例である。

予備 1 .....従業員番号

予備 2 .....本部署名

予備 3 .....部名

予備 4 .....グループ名

予備 5 .....(変更なし)